



# 柿崎区地域協議会だより



発行：柿崎区地域協議会 事務局：柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL025-536-2211

## 柿崎区内 4 保育園の今後の方向性に関する意向調査結果

市は、柿崎区内 4 保育園の全保護者を対象に統合・再編に関する意向調査を実施しました。その集計結果を取りまとめましたので、ご報告します。

### ■調査概要

- ①調査対象：柿崎区内 4 保育園における在園児の保護者
- ②調査期間：令和 5 年 8 月 24 日(木)から 9 月 8 日(金)までの 16 日間
- ③合計回答率：82.6% (回答数 119 / 配布数 144)



### ■調査結果

#### ○枠組み（案）に関する意向

意向	柿崎第一保育園		柿崎第二保育園		上下浜保育園		下黒川保育園		4 保育園合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
賛成	20	43.5%	14	36.8%	7	46.7%	8	40.0%	49	41.2%
やや賛成	19	41.3%	15	39.5%	8	53.3%	9	45.0%	51	42.9%
やや反対	6	13.0%	1	2.6%	0	0.0%	1	5.0%	8	6.7%
反対	1	2.2%	6	15.8%	0	0.0%	2	10.0%	9	7.6%
分からない	0	0.0%	2	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.6%
計	46	100.0%	38	100.0%	15	100.0%	20	100.0%	119	100.0%

- 回答率は 4 保育園合計で 82.6% (柿崎第一 74.2%、柿崎第二 86.4%、上下浜 100.0%、下黒川 87.0%)
- **賛成・やや賛成** の割合は 4 保育園合計で 84.1% (柿崎第一 84.8%、柿崎第二 76.3%、上下浜 100.0%、下黒川 85.0%)
- **反対・やや反対** の割合は 4 保育園合計で 14.3% (柿崎第一 15.2%、柿崎第二 18.4%、上下浜 0.0%、下黒川 15.0%)

#### ○それぞれの意向を選択した主な理由

- 【賛成】施設老朽化・維持費及び災害対策のために早急に新園を建てるべき
- 【やや賛成】保護者の送迎負担は気になるが、少子化を考えると統合は良い
- 【やや反対】児童が増えることで個々の関わりが薄くなってしまう
- 【反対】感染リスクや保育士の目が行き届かなくなる

#### 枠組み（案）に期待すること

- ・親同士、子同士それぞれいろんな人と関わりを持てること
- ・新しい園舎、広い園庭、安全な駐車場、災害リスクの考慮
- ・行事や開園時間などの保育サービスの充実

#### 枠組み（案）で不安に思うこと

- ・災害リスクを考慮した立地になるか
- ・子どもが環境変化に対応できるか不安
- ・将来的に 4 園統合は必要だが、児童数が多すぎるように感じる

# 柿崎の未来を担う新たな組織「かきざき空き家利活用協議会」

空き家問題を解消し、

住みよい環境づくりと柿崎区の活性化を目指す

「移住者や交流人口を増やして地域を活性化するために、空き家の利活用を推進する組織をつくろう」。これが、柿崎空き家活かそうプロジェクト委員会が 3 年の歳月をかけて到達した結論です。現在、空き家の利活用を推進するために協力・連携が必要な関係団体の代表とプロジェクト委員で構成する設立準備委員会を設置し、組織を設立するための検討を進めています。

新たに設立する組織は、「空き家台帳を整備し、空き家を「売りたい人・貸したい人」と「買いたい人・借りたい人」のマッチングのほか、空き家の解体や家財の処分、空き家の維持管理サービスの仲介等の事業を行って、空き家問題を解消し、住みよい環境づくりに貢献することにより地域の活性化を目指します。

組織運営や事業については、リフォームや設備工事を行う建設・建築事業者、家屋の売買契約を行う不動産事業者のほか、金融機関や旅館業、観光業

を営む関連事業者等から組織の会員となっていたら、関係団体や町内会の関係者からはアドバイザーとして、お力添えをいただこうと考えています。

また、財源は、上越市の「地域独自の予算事業補助金」や会員の会費等を充てる予定ですが、今後安定した組織運営を行い、事業を推進するために少しでも多くの財源を確保したいと考えています。そのためにも、多くの関係事業者の皆様から会員になっていただき、皆様からも組織の目的や事業にご賛同いただき、協賛金のご援助をお願いしたいと思っております。詳しくは、次ページの「かきざき空き家利活用協議会」の概要資料をご覧ください。

民間事業者、関係団体、町内会、総合事務所、地域住民が協力・連携した「オール柿崎」で空き家問題に取り組み、ふるさと・柿崎を未来へつないでいきましょう。皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



地域協議会は古民家の利活用事例を視察し、その結果を踏まえて検討してきました。  
(写真：牧区の「山のムムサ」)

## ■かきざき空き家利活用協議会の愛称を募集します

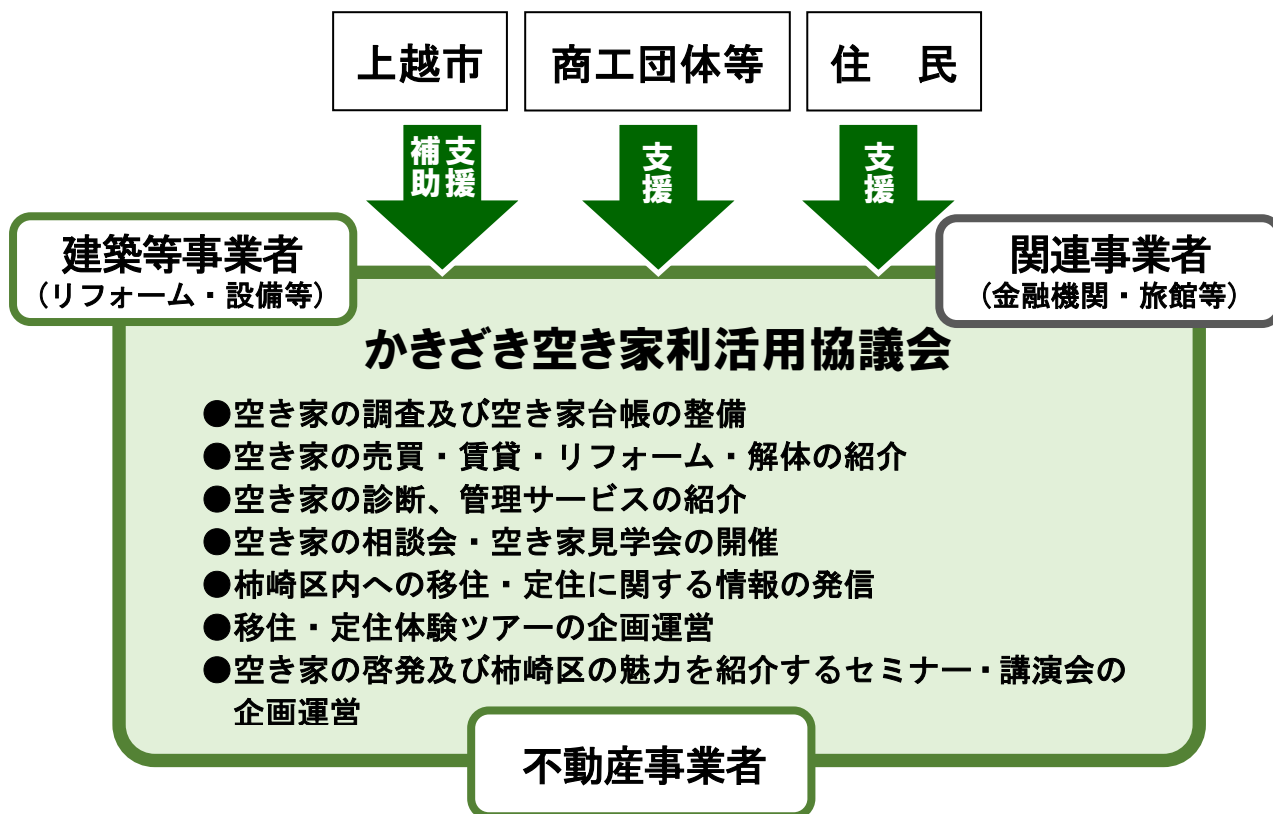
かきざき空き家利活用協議会設立後は、電話による問い合わせのほか、協議会の事務所に気軽に立ち寄っていただきたいと思っております。そうした親しみやすい組織にするために愛称を募集しますので、ご応募ください。詳しくは、次ページの柿崎区地域協議会事務局へお問い合わせください。

(柿崎空き家活かそうプロジェクト委員会 委員長 蓑輪 和彦)

**令和 6 年 2 月設立****かきざき空き家利活用協議会**

住民・町内会・事業者・関係団体・行政が連携・協力

かきざき空き家利活用協議会は、空き家台帳を整備し、空き家を「売りたい人・貸したい人」と「買いたい人・借りたい人」のマッチングを行い、空き家の有効活用を進め、地域の活性化と生活環境の維持に努めます。

**会員を募集します。**

かきざき空き家利活用協議会の事業に賛同し、空き家のリフォームや設備工事、不動産契約、ハウスクリーニング、家屋の解体、家財処分等を行う事業者を募集しています。多くの事業者の皆さんの力を結集して、空き家の利活用を進め、魅力ある住みよい地域にしましょう。

- 事業関連業種 年会費 3 万円
- その他の業種 年会費 1 万円

**協賛金のご援助をお願いします。**

かきざき空き家利活用協議会の運営資金は上越市の補助金のほか、会員の会費と空き家の売買等の紹介手数料が主なものです。運営資金が乏しく、協議会設立当初に必要なホームページやパンフレットの作成、事務機器の整備などの経費の捻出に苦慮しています。当協議会の目的、事業内容等にご賛同いただき、協賛金のご援助を心からお願い申し上げます。

- 一口 3 千円

■問合せ・申込み先 柿崎区地域協議会事務局 (Tel.536-2211 FAX536-2227)

## まちづくりフォーラムを開催します！

今年度は盛りだくさんの内容となっています。柿崎区の現状を知り、ふるさとの将来を一緒に考えてみませんか。詳しくは1月の回覧チラシをご覧ください。

◎開催日時：令和 6 年 2 月 25 日（日） 午前 10 時～正午

◎会 場：柿崎コミュニティプラザ 4 階 ホール

◎内 容：柿崎区地域協議会の活動報告  
地域協議会委員の改選について  
地域独自の予算事業の概要説明  
「はまなすバス」の運行状況について  
上越地区産業廃棄物最終処分場の整備について



## 柿崎区地域協議会の主なうごき(令和 5 年 10 月～令和 5 年 12 月)

会議名	開催月日	主な内容
第 1 回まちづくりフォーラム実行委員会	10 月 10 日	まちづくりフォーラムの内容
かきざき空き家活用協議会 第 4 回設立準備委員会	10 月 16 日	会則、予算、設立趣意書、会員及び協賛金募集等について
第 7 回地域協議会	10 月 17 日	保育園の今後の方向性に関する意向調査結果 ほか
第 4 回明日へつなぐ事業検討委員会	10 月 17 日	地域独自の予算事業の取組
第 5 回地域協議会だより編集委員会	10 月 17 日	地域協議会だより第 52 号の掲載内容
第 8 回地域協議会	11 月 21 日	上越市保育園の適正配置等に伴う意見交換会の開催 ほか
第 2 回まちづくりフォーラム実行委員会	11 月 21 日	まちづくりフォーラムの内容
頸北地区地域協議会委員合同研修会	11 月 25 日	講演、意見交換
第 6 回地域協議会だより編集委員会	11 月 29 日	地域協議会だより第 52 号の編集
第 33 回空き家活かそうプロジェクト会議	11 月 30 日	第 5 回協議会設立準備委員会の協議事項
第 9 回地域協議会	12 月 19 日	諮問：頸北斎場の管理の在り方について
第 5 回明日へつなぐ事業検討委員会	12 月 19 日	地域独自の予算事業の取組

### 【編集後記】

全国的に少子高齢化の波が押し寄せています。それに伴い空き家が増えてきました。現在、柿崎区内の空き家は 177 戸ですが、高齢者の一人世帯が 596 戸、高齢者のみ世帯が 635 戸、これらの家が将来空き家になると予想すると、将来空き家は 1000 戸を超え、3 戸に 1 戸は空き家となります。中山間地から市街地に至るまで増加傾向にあり、市街地では空き店舗も増えていきます。

地域協議会では、この問題を 3 年にわたり協議・検討してきました。今号は、「かきざき空き家活用協議会」の立ち上げについて特集しました。

柿崎区内の空き家を積極的に利活用し、移住者呼び込みという作戦です。協議会立ち上げの資金が不足しています。立ち上げに必要な資金を柿崎区内の皆さんにご援助していただけないでしょうか。協賛金は一口 3 千円です。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

(吉井 一寛)

編集委員長

中村 誠

編集委員

白井一夫

武田正教

蓑輪和彦

吉井一寛

吉村 正